

# まきは

## 「常に主の前に」

「安息日ごとに、永遠の契約としてイスラエルの人々から受け取り、それを常に主の前に整えなさい。」

(レビ記 第24章8節・旧約聖書188頁)

はじめに

「主は生きておられる」との信仰告白には、御言葉の約束を心に刻み、同時に主との交わりである礼拝を欠かさないことであると申しあげました。先週は主の贖いによって、幕の中にはいり、神と交わることができるようにされていることを確認し、神の前に招かれている招きに応じ、神の前で信仰の火を灯し続けていくのだと申しあげました。本日は、さらに深い交わりのためにすべきことを、同じ章から見ていきたいと思ひます。

供えのパン

聖所は幕に囲まれており、祭司しか入ることができません。そして、その聖所の中には、証しの箱が置かれている至聖所と呼ばれている場所があるわけです。当然、ここも幕に囲まれた場所です。アロンは至聖所の前で灯を守り、そしてパンを供えていたのです。しかし、私たちは主イエスの贖いによって、この至聖所にも入ることができるようにされたのです。この特権を私たちは驚くべき出来事として捉えておかなければなりません。

さて、アロンは一週間ごとに供えのパンを主の前に備えました。これもまた、私たちが礼拝において忘れてはならない象徴的な行為です。

献げられたパン

パンとは、神からの恵みによって与えられた収穫物の初穂から作ったもの、私たちの献身を表しています。それを献げていくことで、それが神に受け入れられていくのです。余り物では

カインの献げ物のように受け入れられません。いとも良きものを献げるのです。それは自分自身が神に喜ばれる姿勢を表すことなのです。神への感謝を神からの恵みを、どのように私たちはお返ししているのでしょうか。礼拝において、献げるのです。だから、自分の体を、神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして、パンとして献げよと勧められているのです(ローマ 12:1)。

パンを献げる  
さらに、申し上げるなら、このパンは輪型になっていました。これは神との終わりが無い永遠の契約を表しているのではないかと考えられています。もっと注目すべきことは、それを2列、6つごとに積み重ねて置いたことです。12部族、すなわち、神の民が心を合わせて神の前に出ることを象徴したのです。主イエスは「二人、三人が私の名によって集まるなら、私もそこに在る」(マタイ 18:20)と言われました。神の民が心を合わせて献身をする、そのことにおいて神の礼拝が実現するのです。「あなたが地上で結ぶことは、天でも結ばれ、地上で解くことは、天でも解かれる」だからこそ、常に栄光が満ち満ちている場所として用いられる神の教会となるべく、愛し合い、赦し合い、パンが重なるように地上の結びをして、それを献げていくべきなのです。

自らを、そして心を合わせて礼拝を献げていきたいと思ひます。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「安息日ごとに、永遠の契約としてイスラエルの人々から受け取り、それを常に主の前に整えなさい。」(レビ記 24:8)

「よく言うておく。あなたがたが地上で結ぶことは、天でも結ばれ、地上で解くことは、天でも解かれる。また、よく言うておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を合わせるなら、天におられる私の父はそれをかなえてくださる。二人または三人が私の名によって集まるところには、私もその中にいるのである。」(マタイによる福音書 18:18～20)



「こういうわけで、きょうだいたち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を、神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたの理に合った礼拝です。」(ローマの信徒への手紙 12:1)

アロンが主の前に出て献げたパンの意味を知りました。どうぞ、私が神さまからいただいた恵みを感謝する心で、私自身を献げるようにして礼拝させてください。また心を合わせ、みなさんと礼拝を献げる幸いを覚えることができますように。御名によってお祈りいたします。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (92) 第4章22節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「探し出す者にとって、それは命。心身を健やかにする。」

◎口語訳 「それは、これを得る者の命であり、またその全身を健やかにするからである。」

◎新改訳 「見いだす者には、それはいのちとなり、その全身を健やかにする。」

### 「心身」

運動を推進する時に、「体を鍛えれば心も鍛えられる」、「健康な肉体に健全な心が宿る」などと、体と心が密接な関わっているような言い方をすることがあります。この考えは古代ローマの詩人が、「そうありたい」との願望を込めた詩を残したことで、後世の人たちのより前向きな解釈によって伝えられてきた精神論のようです。

この部分を比較してみると、協会共同訳では「心身を健やかにする」とあるのですが、口語訳と新改訳では「全身」と訳しています。原語を当たる前に、英語訳を見てみると、最も一般的なNIVと呼ばれている聖書訳は「全体」、「全部」を意味する「whole」を使い、「one's whole body」と訳していますが、日本の文語訳にあたる最も権威あるKJV(ジェームス英国王の命によって訳され、1611年に刊行された欽定訳とも言われている)では「all their flesh」と、肉体と

### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
  - c アゲルの言葉 (30:1～33)
  - d レムエルの言葉 (31:1～31)

しています。bodyまたはfleshがほとんどの中、「good health for you」、直接「肉体」を避け、「健康」としている訳は30ほどの聖書訳を調べましたが、1つしかありませんでした。では原語はというと、「そのあばら骨の一つを取り、そこを肉で閉ざされた」(創世記 2:21)から始まって、ほとんどが「肉体」として扱われていました。ただし、「肉なる者」(創世記 6:12、13など)として、「肉片」ではなく、人間の存在そのものを前提とした「肉」であることは間違いありません。「心身」。皆さんはどう思いますか。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

**【月曜日】** ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

エズラ記第9章6節「わが神よ、私は御前に恥じ入るあまり、顔を上げることができません。私たちの過ちは積み重なってわが身の丈を越え、罪責は大きく天にまで達しています。」◆現実にはエズラが考えていたよりもひどかった。国が滅びたの不信仰に陥ったからだ。神に向かおうとせず、こっちは、あつちだと人間の作った神々を拜んでいたことにより、彼らの人生は崩壊した。再建のチャンスが与えられたのに、同じような過ちをしていたことがわかったエズラは、その罪の大きさに自らの罪であるかのようにひれ伏し、神の前にとりなしを祈りをし始めた。

### ●賛美 / 5 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

**【火曜日】** ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

エズラ記第10章4節「お立ちください。このことはあなたの肩にかかっています。私たちはあなたに協力します。勇気をもって行ってください。」◆エズラは、偶像礼拝をしていた民たちのために涙を流しながら祈った。エズラはシエカンヤの進言を受けて、神との関係を修復させるためには、自分が「神に従うべきだ」と、はっきり言うことなのだと知り、そして民たちに迫った。なかなか言い出しにくい場面だが、後押しするようにして協力してくれる人、それができるように、とりなす人があなたの周りにはいる。勇気を持って行おう。

### ●賛美 / 6 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

**【水曜日】** ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

ネヘミヤ記第1章4節「これを聞いて、私は座り込んで泣き、幾日も嘆き、断食をして、天の神の前に祈った。」◆エヘミヤはエズラと共に再建を指導した、言い換えるなら民たちの信仰復興を果たした人物である。彼は都エルサレムの様子を聞いた時、泣き伏したのだが、その中で、統率もとれず、城壁もないまま生活している民たちの情けない姿を考え、彼の帰還への願いは強くなる。そして王にその思いを告げたのだ。私たちも神のわざが進んでいけない現状をなげくべきである。そして、祈りつつ、使命を持つべきである。

### ●賛美 / 7 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

ネヘミヤ記第2章1節「私はぶどう酒を取り、王に差し上げた。私は王の前で暗い表情をしたことはなかったが、」◆ネヘミヤは優秀な人物であり、その人柄からも信頼を勝ち取ったのだろう、ペルシア王アルタクセルクセスのそばで仕える者となっていた。当然、悲しくても王の前で私情は持ち出せない。へたをすれば機嫌を損ない、命を奪われるかも知れないのだ。だが、それを承知しながらも、ネヘミヤは悲しみをこらえることができなかつたのだ。私たちはそのくらい、身内の救いを、また教会の働きが進むように切願していくべきではないか。

●賛美／8 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

ネヘミヤ記第3章1節「直ちに、大祭司エルヤシブはその仲間の祭司たちと羊の門を再建した。」◆エルサレムは大きな城壁を誇っていた。そして都であるがゆえに街道に通じる道が放射状に数多く存在していたので、門も同数あったわけだ。ネヘミヤはそれらを分担し、修復を任せた。羊の門は羊を含むいけにえの動物を神殿に入れる門だった。ネヘミヤはその修復に大祭司らを当てたわけだ。私たちの教会での働きも、それぞれが自分の賜物を知って、担当し、動かしていくべきである。神の宮でもある教会の働きは一人でやるものではない。

●賛美／9 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

ネヘミヤ記第4章11節「城壁を再建する人々、荷を担いで運び人々は、一方の手で作業をしつつ、もう一方の手は投げ槍を握りしめた。」◆サンバトは自分がユダヤを取り仕切っていると考えていたが、ネヘミヤが帰郷し、その地位から退けられたことで事業が失敗するように企てた。しかし、民はみなエルサレム再建の目的を失わず、心一つに、全身全霊を傾けて修復を行った。妨害する者や反対者はどんな時にも現れる。それが重要であればあるほど強い力が働く、その時こそ、信仰に立ち、戦いの姿勢を保ちつつ神の事業をなしていくべきである。

●賛美／10 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

ネヘミヤ記第5章19節「神よ、私がこの民に尽くしたすべてのことを心に留めて、私をお恵みください。」◆帰還してきた民たちの多くは貧しかった。そのため、富んでいる者に借金をし、返せなかったら子どもを奴隷に売るようなこともあったようだ。ネヘミヤは虐げられているのを見て、利子など取らず、その者たちの立場を理解するようにと説得した。そして自らも総督ではありながら、その職務を特別な者とせず民たちと共に重労働に当たった。どんな時でも、自分の利をむさぼってきならない。己を清く保ち、律していこう。

●賛美／11 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやごでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【マタイによるふくいんしよ 25:14～30】

「ほめられたひと しかられたひと」

(マタイ 25:21)

あなたは おるすばんをしたことがありますか。「ちょっと でかけてくるから おるすばんをしていてね」と おねがいされたとき、「わかりました」と へんじをするはずです。そのときに、ちゃんと おるすばんができるでしょうか。いたずらをして、かえってきたときに、「なんで こんなことをしたの?」と おこられたことは ありませんか。じょうきょうせいになれば、「せんたくものを とりこんでおいて」と たのまれるかもしれませんね。そんなとき、もしゲームに ねっちゅうして、せんたくものを とりこむのを おすれてしまったらどうでしょうか。

せんしゅう、このよの おわりのとき、イエスキმაが ふたたび おいでになる「さいりん」があること、そして、その ときまで、どのようにして、まっていればいいのか、イエスキマ

は けっこんしきの たとえばなしで おしえられたと いました。

おなじように、こんどは おるすばんの たとえばなしで、ごしゅんが ふたたび こられるときまで、わたしたちは どのようにして すごせばいいのか を たとえて おしえておられます。

ごしゅんが しもべたちを よんで それぞれにおかねを あずけました。5タラントン あずけられたひと、2タラントンのひと そして 1タラントンのひとも いただきました。いまのおかねだと 1タラントンが6000まんえん くらいですから、たいきんです。

3にんは どうしたとおもいますか?ふたりのひとは そのおかねを つかって、じょうずに しょうばいをして もうけました。でも ひとりのひとは、なにもしなかったのです。

イエスキマは なにも しなかったひとは ごしゅんに おこられました。わたしが ふたたび くるまで いっしょうけんめい、かみさまのために あかしをしなさいよ とおおしえになり たかったのです。

## ●かながえてみよう

☆5タラントン あずけられたひとは ごしゅんがかえってきたとき、どのように いましたか。(マタイ 25:20)

☆1タラントン あずけられたひとは ごしゅんが かえってきたときに どのように こたえていますか。(マタイ 25:25)

☆1タラントンの ひとを ごしゅんは なんと いうて しかっていますか。(マタイ 25:27～30)



# なみむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

ち  
ゆ  
う  
じ  
つ  
な  
し  
も  
べ

も	し	な				う	つ	
						ち		し
ち	ゆ	つ	な			し	じ	も
う	な	ち				ゆ	べ	し
	べ	も		ち	う	な		
じ		し	べ	な		ゆ	う	ち
な	じ	ゆ	も					う
つ	も	べ	う				ゆ	
	ち							じ

## ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① もうけたのっと
- ② えくんしゆ
- ③ おうびよく
- ④ やくらみ

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





# 牧師の 聖書 ななめ読み

「閉店」

ほぼ一週間に一度のペースで訪れていたパン屋さんがありました。先日、二週間ぶりでしたが、「今日は何を買おうかな」と考えながら行ったところ、なんと「閉店しました」の貼り紙が。「ガーン」でした。「うそだろ。あのあんこがしっとりとした絶品のあんパンもチーズのたくさん入ったパンも、そしてメロンパンも、もうたべられないのかあ」と悲しくなっていました。同時に、実は私はあまり上客ではなく、いつも賞味期限が切れそうになって割引シー

ルの貼ったパンでなければ買っていなかったの、「あーあ、一度は割引していないパンを買ってあげべきだったかな」と反省した次第です。

ウクライナの紛争で小麦が高騰したあたりから、パン屋さんはピンチになりました。原材料となるほとんどの値が上がれば、薄利多売の大手製パン企業には勝つことができません。どのパンでも良いだろうと思うのですが、やはり時々自分の好きなパンを食べたくなります。そのような逆風と思われる中で、回転するパン屋さんもあります。こだわりの味で勝負するのでしょうか、がんばれるかどうかは味だけではなく、経営手腕も試されます。

あのあんパンに巡り会えるのはいつの日になるだろう。

## 聖書ふれあい街歩き

### ●メシユクとケダル

詩編 120 編に出てくる「メシユクとケダル」について解説しておきます。創世記 10 章により、メシユクはヤフェトの子孫として記されていますが、民族の広がりにより、黒海の南岸に住んだと思われます。イスラエルから見れば、北の辺境というイメージです。エゼキエル書 38、39 章で「メシユクとトバルの頭である指導者、マゴグの地のゴグ」として出てきますが、このゴグは敵対勢力の象徴として新約聖書にも登場してくる存在です。つまり、神から遠く離れた隔離された世界の象徴です。

ケダルはイシュマエルの子(創世記 25:13)で、アラビア半島の砂漠地帯を移動する遊牧民になったとされています。雅歌では「ケダルの天幕のように黒くて愛らしい」(雅歌 1:5)と形容され、イザヤ書には弓の使い手であったことが記されています(イザヤ 21:16、17)が、荒野での生活は安定に欠き、略奪しなければ生活を保つことができなかつたのです。

北の端に住むと同時に、南の端に住むなどできません。これは 120 編の信仰的な問題点をはっきりさせるために用いられた象徴で、それだけ神の御心から離れた生活をしていたのだという気づきを表そうとしたのです。

## ななめ聖書 先週のこたえ

き	を	い	そ	な	の	と	ら	し
と	ら	の	し	い	を	き	な	そ
そ	し	な	と	き	ら	を	い	の
な	と	そ	い	ら	き	の	し	を
の	い	し	な	を	と	ら	そ	き
を	き	ら	の	し	そ	い	と	な
い	な	と	を	の	し	そ	き	ら
し	の	き	ら	そ	い	な	を	と
ら	そ	を	き	と	な	し	の	い

- ①しゆくえんのま
- ②てんのくに
- ③じゅうにん
- ④はなむこ

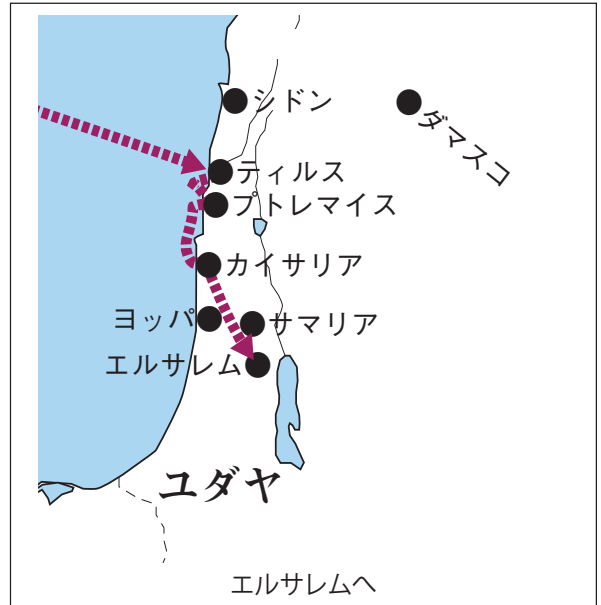


## エルサレムにて

私たちがエルサレムに着くと、きょうだいたちは喜んで迎えてくれた。

翌日、パウロは私たちを連れてヤコブを訪ねたが、そこには長老が皆集まっていた。パウロは挨拶を済ませてから、自分の奉仕を通して神が異邦人の間で行われたことを、詳しく説明した。

人々はこれを聞いて、神を崇め、パウロに言った。「兄弟よ、ご存じのように、幾万人ものユダヤ人が信者になって、皆熱心に律法を守っています。この人たちがあなたについて聞かされているところによると、あなたは異邦人の間にいる全ユダヤ人に対して、『子どもに割礼を施すな。慣習に従うな』と言って、モーセに背くように教えているとのことですよ。一体、どうしたらよいでしょうか。あなたが来られたことを彼らはきっと耳にします。」(使徒言行録21:17~23)



## 【ヤコブとの面会】

翌日、パウロはムナソンの家から、弟子たちを連れてヤコブを訪問します。このヤコブは使徒ヨハネの兄弟、使徒ヤコブではありません。使徒のヤコブは「ヘロデ王は教会のある人々に迫害の手を伸ばし、ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した」(使徒12:1~2)とあるように、この時には殉教していました。このヤコブは主イエスの兄弟、つまり、ヨセフとマリアの間に生まれた子、当初、兄を救い主と認めることができなかつたヤコブです。

余談になりますが、使徒ヤコブを殺したヘロデ王とは、主イエスを殺そうとしたヘロデ大王でも、バプテスマのヨハネを殺したヘロデ・アンティパスでもありません。ヘロデ・アグリッパ1世です。

ヘロデ大王は、長男のアリストプロス4世を、自分を亡き者にしようとしているのではないかと疑って殺害、結局、ヘロデ大王の死後に王になったのは、弟に当たるヘロデ・アンティパスでした。その後アンティパスは失脚してローマに追放されており、代わって王となってエルサレムを治めたのが、アリストプロス4世の子、ヘロデ・アグリッパ1世でした。

このヘロデ大王の孫に当たるアグリッパは、その性格を受け継いだのが非常に猜疑心が強く、また「ユダヤ人に喜ばれるのを見て、さらにペトロをも捕らえようとした」(使徒12:3)人物で、それゆえに、影響力のある人物やエルサレム教会を標的に迫害を続けていた人物でした。

ただ、パウロがエルサレムのヤコブを訪問した時、すでにローマの支配が強まり、ローマ総督がすべてを掌握しており、ヘロデ王家は北の隅にお

いやられ、もはや王の威厳もなく、没落してしまっていました。

さて、余談が長くなってしまいましたが、まず、便宜上、時々「エルサレム教会」と申し上げていますが、当時の状況から、教会堂を建てることで、信徒に危険が生じます。今、時々教会堂やイスラム会堂がテロの標的になっています。礼拝の時間ならば、そこに多くの信徒が集まりますので、一度に大勢を殺傷することができるからです。そのようなことがないように、集まりは信徒の家やまたヤコブの自宅で行っていたはずで、家の教会です。

主イエスの弟ですから、おそらくはAD0年前後に生まれています。パウロがエルサレムを訪問した時期がAD57~8年ごろですので、その年齢、まさに働き盛りの年齢です。伝承では神殿の近くに住み、頻繁に神殿に入り祈っていたとされていますが、主イエスの教えを聞いたり、十字架や復活を自分の目で見た人たちがまだ大勢いたわけで、パウロを家に招き入れたムナソンはじめ、「ずっと以前から弟子であった」長老たちが、そのヤコブを支えていたことが、ここでわかります。

この面会において、ヤコブはパウロがエルサレムに戻ってきたことを知ったら、ユダヤ人たちは黙っていない。一体どうしたらよいだろうと、パウロの訪問、そしてその報告を聞いて感謝しながらも、これから先に必ず起こってくるであろう状況にどう対処して良いか悩んでいます。厄介者とは思っていないでしょうが、ヤコブにとって、パウロの訪問はうれしさ半分、悩み半分と言ったところだったかもしれません。

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#2/17)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#2/18～#3/28)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/5～#5/23)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#5/24～#11/28)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/29～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/10・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)  
父の日(6/21・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/22・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)  
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/22～28)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)  
最後の晩餐集会(#4月2日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)  
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

## 教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか  
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし  
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ  
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

